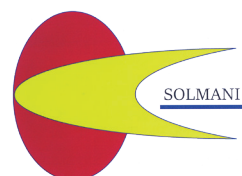


テスラー

安全対策と作業効率向上を兼ね備える



【取付け方法及び注意点】

- 1) 鉄骨階段建て方にテスラーを取付ける。(地組みする)、地組み出来ない場合は墜落防止措置を講じて取付ける。
- 2) テスラー取付け→①外管の取付け金具を先に固定→②幅木をテスラーに取付ける→③蝶ボルトを緩め内管手摺及び幅木を伸縮させて寸法を合わせる→④内管の取付け金具を固定する。
- 3) 取付け時、ササラが取付け金具の奥まできていることを確認し、ボルトの締付けを行います。(適正値:トルク350kg/cm)
- 4) 最後に全体の緩み、蝶ボルト、取付け金具の締付けが確実か確認します。

【使用上のご注意】

- 1) 手摺の上棧、中棧、下棧、幅木の上に乗ったり、足場板等を数かないで下さい。
- 2) 墜落制止用具や親綱の支持にしないで下さい。
- 3) 材料などを立てかけないで下さい。
- 4) 規格の寸法を超えて使用しないで下さい。
- 5) 階段の手摺以外で使用しないで下さい。

【販売元】

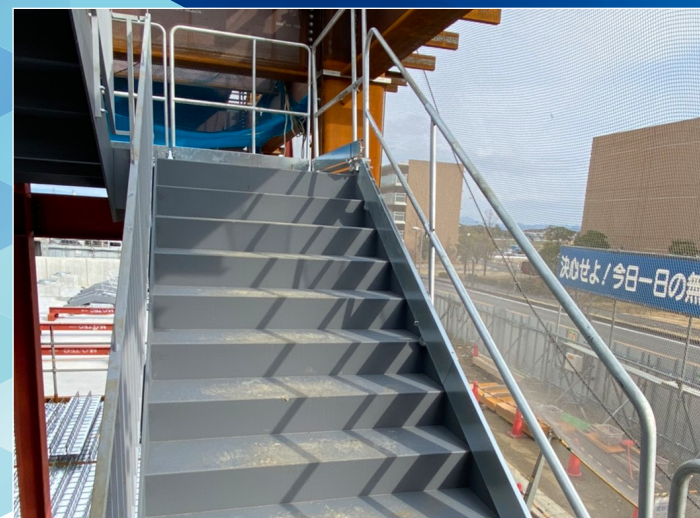
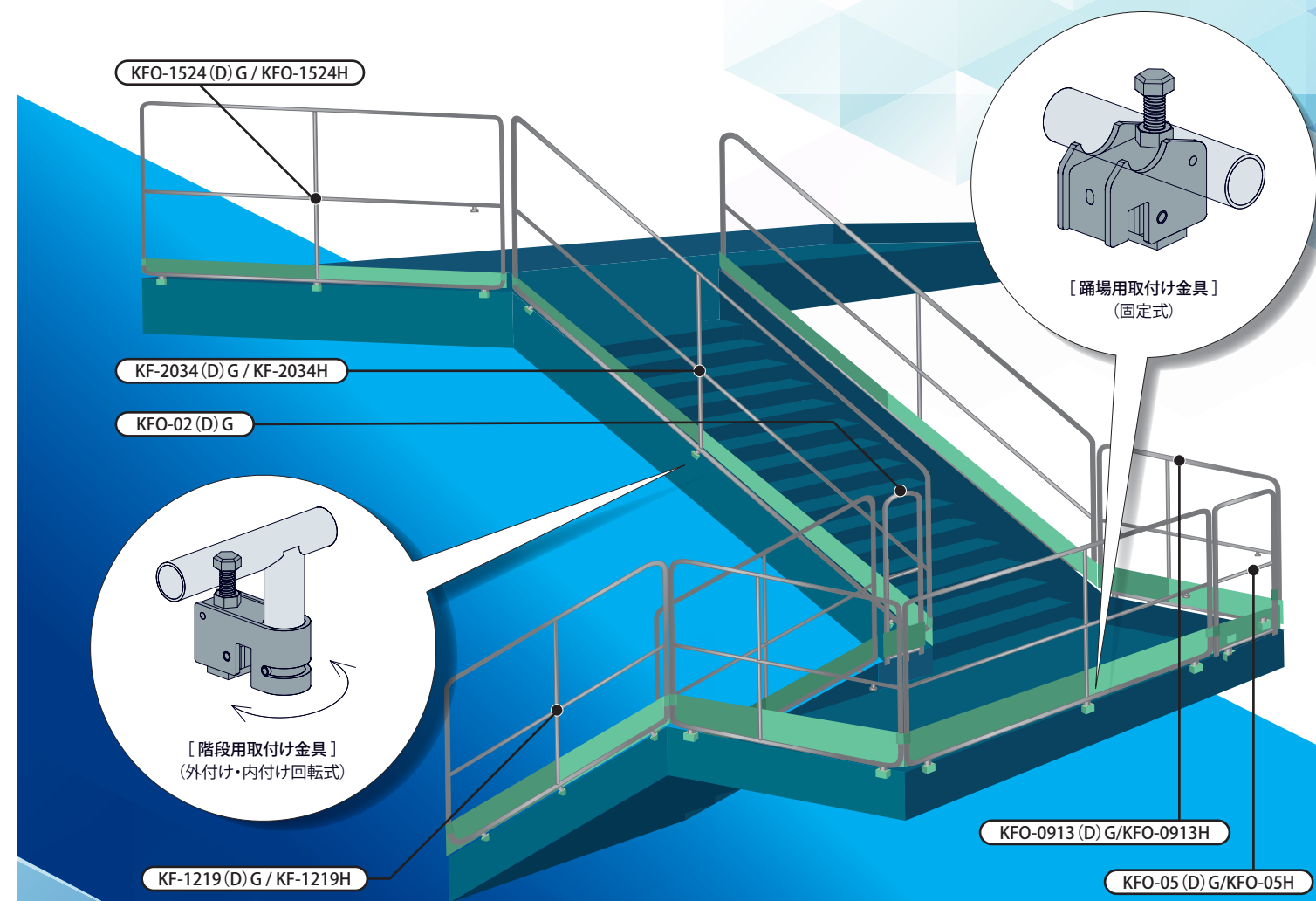


〒614-8161 京都府八幡市上奈良宮ノ東 25-2
TEL:075-983-2230
FAX:075-983-2231
<https://solmani.co.jp/>



【取扱店】

※製品改良のため、予告なく仕様変更することがあります。





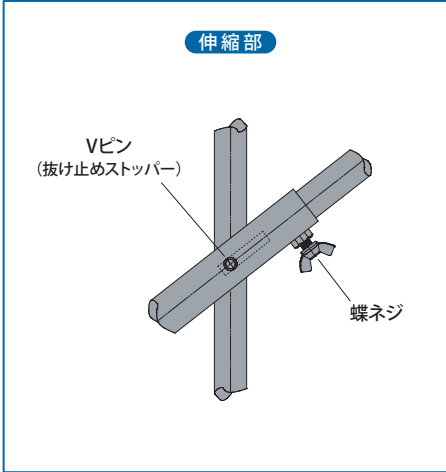
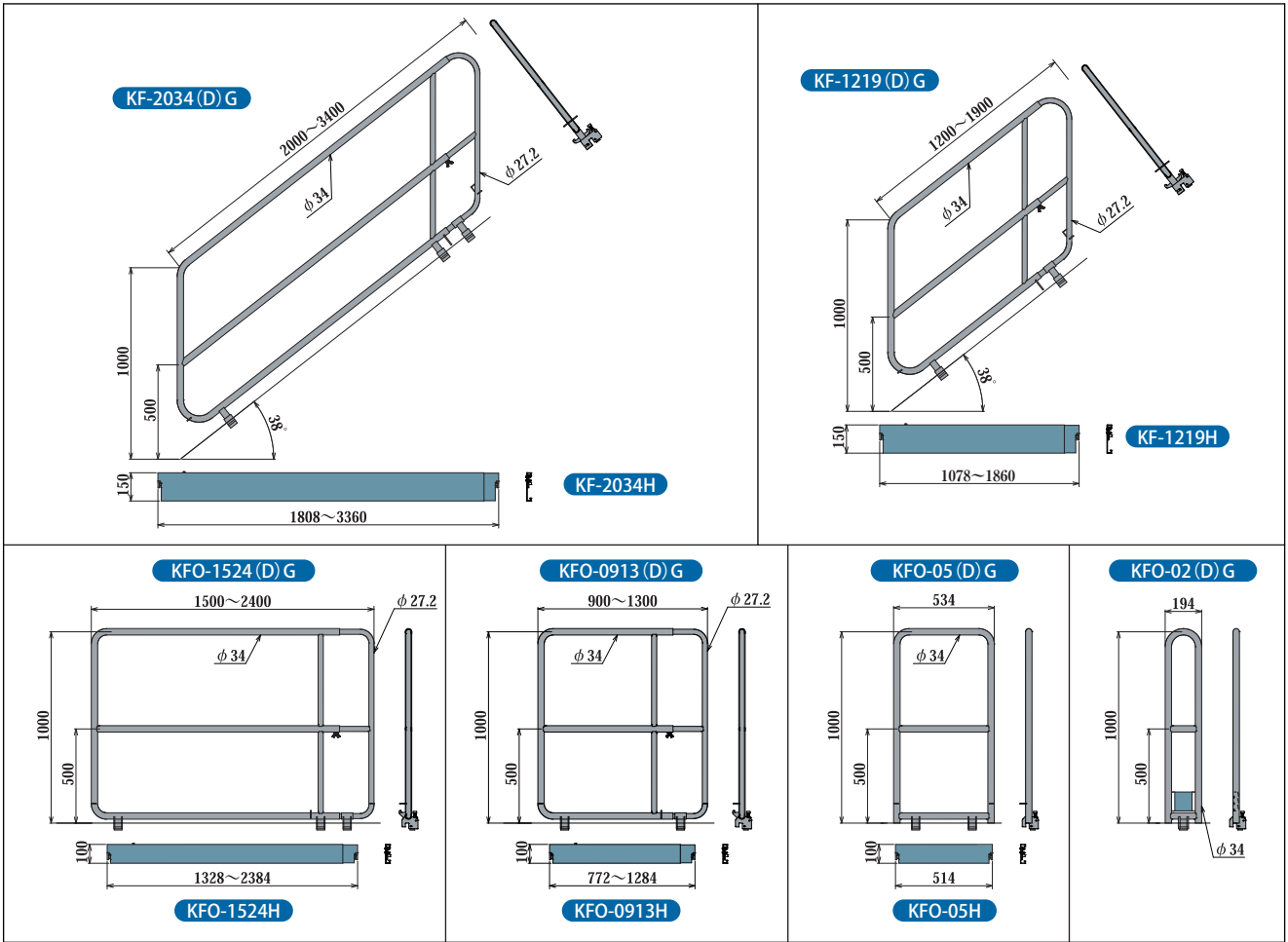
- [安全性]** ●専用幅木取付けにより落下物を防ぎ安全性を向上(※幅木は取外し可能)
 ●階段折り返し部分の隙間対策手摺をラインナップに追加(KFO-02(D)G)
- [作業性]** ●取付け金具の新機能によって仕上げ作業効率が大幅に向上

従来品		テスラー	
ササラに対して横からボルトを締付ける構造なので、ボルトにコンクリートが付着し回らないことがある。	外部面 内部面	ササラに対して上からボルトを締付ける構造なので、ボルトにコンクリートが付着することを防ぐ。	外部面 内部面
コンクリート打設時に干渉するため、右図のように金具付近は後で補修を行う必要がある。	外部面 内部面	コンクリート打設しても10mm程度の余裕があるため、左写真のように後作業が可能。	
コンクリート打設時に金具を上方向に逃がす必要がある。そうすると抑え金具の掛かりが浅く不安定な状態になる。	外部面 内部面	標準仕様で従来品よりもおよそ25mm上方向に位置することから特別な設置方法は必要なくコンクリート打設可能。	

従来品では落下物を防ぐためには養生ネットの設置が必要ですが、
 テスラーは幅木を取付けることで落下物を防ぐので養生ネット取付けの手間を省きます。

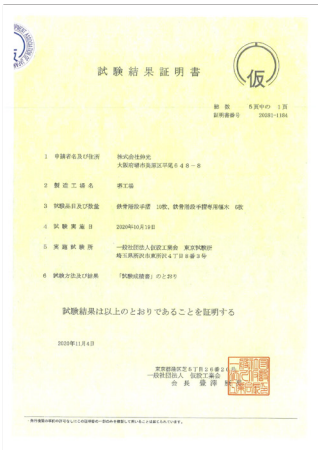
次世代鉄骨階段用仮設手摺 テスラー

通常タイプ(ササラ部挟み12mm~16mm)
 Dタイプ(ササラ部挟み9mm~25mm)



使用箇所	型 式	寸法 (mm)	重量 (kg)
階段用	KF-2034 (D) G	H1000×W2000~3400	22.5
	KF-1219 (D) G	H1000×W1200~1900	14.9
踊場用	KFO-1524 (D) G	H1000×W1500~2400	18.3
	KFO-0913 (D) G	H1000×W900~1300	12.1
	KFO-05 (D) G	H1000×W534	7.9
	KFO-02 (D) G	H1000×W194	5.8
専用幅木	KF-2034H	H150×W1808×3360	6.4
	KF-1219H	H150×W1078~1860	3.9
	KFO-1524H	H100×W1328~2384	3.7
	KFO-0913H	H100×W772~1284	2.3
	KFO-05H	H100×W514	1.2

(本体-KSGメッキ・取付け金具-ドブメッキ)



(一社)仮設工業会「墜落防止設備等に関する技術基準／手すり等第2種」に定められた強度を準用

専用幅木は(一社)仮設工業会「仮設機材認定基準(幅木)」の第1種」に定められた強度を準用

